

2019年度 独創的研究助成費 実績報告書

2020年 3 月 24日

報告者	学科名	情報通信工学科	職名	教授	氏名	杉村 藍
研究課題	英語プレゼンテーション練習のためのWeb教授法および評価法研究（2）					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	杉村 藍	情報工学部情報通信工学科・教授	英語教育	研究統括	
	分担者					
研究実績の概要	<p>受験対策が主流だった日本の英語教育は、社会や経済の急速な国際化により「日常生活や仕事の現場で使える英語」を目指す動きが生まれ、2003年には文部科学省が「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」を策定し、国際的共通語としての英語を用いたコミュニケーション能力を身につけることが不可欠であるとされるまでになった。国際化社会においては、情報を入手、理解するだけでなく、発信する英語力が求められている。</p> <p>本研究では、国際会議での発表に向けた英語プレゼンテーション能力育成を目的とし、そのためにWeb学習支援システムを導入する。国際会議での発表においては、発表内容が優れていることはもちろんだが、その内容をいかに効果的に聴衆に伝えるかというプレゼンテーションの技術も重要である。本研究は昨年度実施した「英語プレゼンテーション練習のためのWeb教授法および評価法研究」を継続したもので、昨年度の段階で設計を完了した「プレゼンテーション学習支援システム」（以下、本システム）を構築し、授業内での導入実験を行なうことを目標とした。本システムの本格的な授業導入に向けて動作確認をするとともに、プレゼンテーション技術向上のためにどのように本システムを活用できるのか、次の研究段階に向けた準備を兼ねている。なお、本研究は本システムを利用した科研費研究のための基礎研究でもある。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>前期は本システムの設計書の見直しをするとともに、システム構築に向けた最終確認を行なった。なお、システムの構築に当たっては専門業者に委託した。同時並行して、大学院博士前期課程で開講されている「アカデミック・プレゼンテーション演習」において評価法の研究を実施した。授業では毎回特定のテーマに沿って受講者一人ひとりがプレゼンテーションの演習をし、それに対して3種類の評価を行なう。具体的には、①発表者が自己モニタリングをして自らのパフォーマンスを振り返る自己評価、②学生同士が互いを評価するピアレビュー、③教員による評価の3種類である。前期はこれを紙媒体の評価表を用いて実施し、評価項目や評価段階を精査した。</p> <p>発表者がプレゼンテーションしている様子をビデオカメラで録画し、それと同時進行で評価者が評価を行なう「Web 動的評価」にこれら3段階の評価法が組み込まれている。後期はこの「Web 動的評価」を実現するために不可欠なWeb 動画送受信管理機能セットを専門業者に委託し構築してもらった。「Web 動的評価」は、プレゼンテーションの録画後に動画を再生しながら、それと同期を取って評価結果を画面に表示する仕組みである。プレゼンテーションのどの部分が高く、あるいは低く評価されているかをピンポイントで確認できる。評価結果と動画を同時に確認することにより、プレゼンテーションにおいて改善が必要な箇所、そして何に関して改善が必要であるかを適確に把握できる。</p> <p>後期開講の大学院博士前期課程「テクニカル・プレゼンテーション演習」の一部で本システムを導入し動作実験を行なった。動作確認をすると同時に、実際に使用した感想を学生に求め、操作のしやすさや画面のデザイン等についてフィードバックを得た。システムの利用に当たってはノート型パソコンを想定していたが、受講者の中にはスマートフォンを利用する学生もおり、授業内で多様な端末に対応できるかについても実験できたことは収穫であった。</p> <p>なお、当初の計画では本システムの「授業内学習」「授業外学習」2つのモードを構築する予定であったが、時間的・予算的制約のため、今年度は「授業内学習」モードのみの構築となった。「授業外学習」モードについては次年度の課題とする。また、今年度の研究成果を活かし、次回の科研費申請につなげていく予定である。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>本研究は複数年度にわたる研究開発であり、今年度の研究成果は下記のとおりであるが、さらに分析を重ねて来年度に関連する研究分野の学会で発表する予定である。本研究の開発成果等については、Web ページ (http://www.sugimura-laboratory.com/) 等で順次公開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉村藍 (単) 「Web システムを用いた英語プレゼンテーションの評価法研究」 (Web 実践教育研究会報告 (第7号)、2019年8月4日) pp. 7-10. ・ 杉村藍、武岡さおり (共) 「英文法 Web システムの個人利用に向けた取り組み」 (Web 実践教育研究会報告 (第7号)、2019年8月4日) pp. 11-14. ・ 杉村藍 (単) 「英語プレゼンテーション指導法開発に向けた取り組み—多様な練習方法の活用を通して—」 (Web 実践教育研究会報告 (第7号)、2019年8月4日) pp. 19-22.